

第2次一般廃棄物資源化基本計画アクションプラン 2021年度・2022年度 事業計画

基本方針		基本施策		実施手法		推進主体	市の評価
1	協働による取組を進めます 市民、事業者との連携を強化し、	1-1 市民との連携による取組の推進		1-1-1	3R学習の充実	環境政策課 循環型施設管理課	○
				1-1-2	担い手づくりに向けた取組の推進	環境政策課	○
		1-2 事業者・各種団体との連携による取組の推進		1-2-1	飲食店・スーパー・百貨店等の事業者との協働による取組の推進	環境政策課	△
				1-2-2	スポーツチーム・教育機関等団体との協働による取組の推進	環境政策課	○
		1-3 市民や事業者の主体的取組の支援		1-3-1	地域が行う取組の支援	環境政策課	△
				1-3-2	事業者が行う取組の支援	環境政策課	○
1-3-3	各種情報ツールを活用した情報発信			環境政策課	○		

基本方針		基本施策		取組施策		推進主体	市の評価
2	家庭系ごみの減量を進めます	2-1 生ごみの減量の推進	重点	2-1-1	生ごみの発生抑制	環境政策課	○
			重点	2-2-1	プラスチックごみの発生抑制	環境政策課	○
		2-2 プラスチックごみの減量の推進	重点	2-2-2	プラスチックごみの資源化の推進	環境政策課	○
			重点	2-3-1	リデュース・リユースの推進	環境政策課	○
		2-3 その他の家庭系ごみの減量の推進		2-3-2	リサイクルの推進	環境政策課	△
2-4 家庭系ごみ処理手数料の見直しの検討		2-4-1	家庭系ごみ処理手数料の見直しの検討	環境政策課	○		
3	事業系ごみの減量を進めます	3-1 事業系ごみの適正排出の推進	重点	3-1-1	適正排出に向けた取組の推進	環境政策課	△
				3-1-2	優良事例の公表・拡大	環境政策課	◎
		3-2 事業系ごみの減量の促進		3-2-1	公共施設から排出される事業系ごみの削減	環境政策課	△
				3-2-2	事業系生ごみの削減	環境政策課	○
				3-2-3	事業系紙類の減量・資源化	環境政策課	△
3-3 事業系ごみ処理手数料の見直し検討		3-3-1	事業系ごみ処理手数料の見直し検討	環境政策課	○		
4	環境に配慮した資源化 施設を整備し、安全な処理に努めます	4-1 一般廃棄物処理施設の整備	重点	4-1-1	環境に配慮した新しいごみ焼却施設等の整備・運営	循環型施設管理課	△
				4-1-2	生ごみのバイオガス化施設の整備・運営	循環型施設管理課	◎
				4-1-3	資源化施設の整備	循環型施設整備課	○
		4-2 収集体制の整備		4-2-1	収集体制の見直し	ごみ収集課	◎
		4-3 資源の有効活用の推進	重点	4-3-1	資源化の拡大	環境政策課 循環型施設管理課	○
5	社会的課題への対応を強化します	5-1 災害時等のごみ処理に関する対応力強化	重点	5-1-1	災害時等のごみ処理に関する計画の見直し	環境政策課	○
				5-1-2	災害時等の教育・訓練	環境政策課	○
				5-1-3	応援・受援体制の整備	環境政策課	○
		5-2 超高齢社会の到来に伴うごみに関する問題への対応		5-2-1	高齢者等に対応した収集体制の検討	ごみ収集課	○
				5-3-1	不用品の違法回収防止対策の推進	環境政策課	○
		5-3 不適正処理防止対策		5-3-2	不法投棄防止対策の推進	ごみ収集課	△
				5-3-3	まちの美化の推進	環境共生課	○
	5-3-4		持ち去り行為防止対策の推進	ごみ収集課	△		

市の評価基準について ◎:目標数値以上に実施 ○:目標数値とおり実施 △:目標数値を若干下回る ×:目標数値に程遠い

基本方針	基本施策	重点	実施手法	協働による主な実施手法								
				1-1-1	1-1-2	1-2-1	1-2-2	1-3-1	1-3-2	1-3-3		
1	市民、事業者との連携を強化し、協働による取組を進めます	1-1 市民との連携による取組の推進	1-1-1	3R学習の充実								
			1-1-2	担い手づくりに向けた取組の推進								
		1-2 事業者・各種団体との連携による取組の推進	1-2-1	飲食店・スーパー・百貨店等の事業者との協働による取組の実施								
			1-2-2	スポーツチーム・教育機関等団体との協働による取組の実施								
		1-3 市民や事業者の主体的取組の支援	1-3-1	地域が行う取組の支援								
			1-3-2	事業者が行う取組の支援								
1-3-3	各種情報ツールを活用した情報発信											
2	家庭系ごみの減量を進めます	2-1 生ごみの減量の推進	2-1-1	生ごみの発生抑制	○	○		○	○	○	○	
			2-2 プラスチックごみの減量の推進	○	○	○	○		○	○		
		◎	2-2-2	プラスチックごみの資源化の推進	○	○			○		○	
		2-3 その他の家庭系ごみの減量の推進	◎	2-3-1	リデュース・リユースの推進	○	○	○	○	○	○	○
				2-3-2	リサイクルの推進	○	○	○	○	○	○	○
2-4	家庭系ごみ処理手数料の見直しの検討	2-4-1	家庭系ごみ処理手数料の見直しの検討									
3	事業系ごみの減量を進めます	3-1 事業系ごみの適正排出の推進	◎	3-1-1	適正排出に向けた取組の推進						○	
				3-1-2	優良事例の公表・拡大						○	○
		3-2 事業系ごみの減量の促進		3-2-1	公共施設から排出される事業系ごみの削減						○	
				3-2-2	事業系生ごみの削減			○	○		○	
				3-2-3	事業系紙類の減量・資源化						○	○
3-3	事業系ごみ処理手数料の見直し検討	3-3-1	事業系ごみ処理手数料の見直し検討									
4	環境に配慮し、適正かつ安全な資源化施設を整備し、資源化施設に努めます	4-1 一般廃棄物処理施設の整備	◎	4-1-1	環境に配慮した新しいごみ焼却施設等の整備・運営							
				4-1-2	生ごみのバイオガス化施設の整備・運営							
				4-1-3	資源化施設の整備							
		4-2	収集体制の整備	4-2-1	収集体制の見直し							
		4-3	資源の有効活用の推進	◎	4-3-1	資源化の拡大						
5	社会的課題への対応強化	5-1 災害時等のごみ処理に関する対応力強化	◎	5-1-1	災害時等のごみ処理に関する計画の見直し							
				5-1-2	災害時等の教育・訓練	○		○		○		○
				5-1-3	応援・受援体制の整備							
		5-2	超高齢社会の到来に伴うごみに関する問題への対応	5-2-1	高齢者等に対応した収集体制の検討							
		5-3 不適正処理防止対策		5-3-1	不用品の違法回収防止対策の推進							○
				5-3-2	不法投棄防止対策の推進					○		○
				5-3-3	まちの美化の推進				○	○		○
	5-3-4		持ち去り行為防止対策の推進					○		○		

実施手法	推進主体
1-1-1 3R学習の充実	環境政策課 循環型施設管理課

【指標と目標値】

指標	2021年度目標	2021年度実績
幼稚園・保育園、学童保育クラブ、小学校、中学校、町内会・自治会等での出前講座の実施	60回	85回
3R公開講座	15回	18回
町田市バイオエネルギーセンターと併せた啓発	3回	0回
イベント出展	5回	10回
主催イベント実施	1回	1回
キャンペーン実施	5回	3回

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>幼稚園・保育園、学童保育クラブ、小学校、中学校、町内会・自治会等での出前講座の内容を検討し、実施します。</p> <p>子ども向けの講座については、受講後に各家庭で子どもから保護者へごみ減量啓発の発信ができるような仕組みを作ります。また通常の対面式での講座の他にもWEBやリモートでの非対面式の講座を実施します。</p> <p>町田市バイオエネルギーセンター稼働後は、施設見学をできるだけ早く受け入れ、見学の中でのごみ減量の啓発が実施できるよう検討します。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
出前講座	保育園・幼稚園、学童保育クラブ、小学校、中学校												
	町内会自治会等												
3R公開講座	芹ヶ谷公園												
	イベントなど												
キャンペーン企画・主催	水切りキャンペーン												
	マイボトルキャンペーン（ホームタウンチーム以外）												
	サイズダウンチャレンジ												
町田市バイオエネルギーセンターと併せた啓発	検討、実施												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
取組経過	評価の理由	
<p>・各種出前講座については、2020年度の実績と同程度の回数を実施することができました。子ども向け出前講座の内容については、ごみ減量に加えて脱炭素など環境全般に関する内容を加えると共に保護者向けには食品ロスや雑がみについての啓発をチラシで実施しました。イベント出展の際にはできるだけ「3R公開講座」を導入し多くの市民にごみ減量の啓発を行うことができました。キャンペーンはマイボトルキャンペーンを3回実施しました。</p> <p>・サイズダウンチャレンジについてはコロナウイルス感染を考慮し実施しませんでした。</p> <p>・町田市バイオエネルギーセンターと併せた啓発については、当初想定していた講座形式によるイベントは実施できませんでしたが、施設見学会の説明の中でごみ減量に関する啓発を行いました。施設見学会は61回実施しました。</p>	<p>・目標回数に達成しました。ごみ減量に加えて脱炭素など環境全般に関する内容をメニューに取り入れました。</p> <p>また、出前講座やバイオエネルギーセンターでの見学でアンケートを取り、高い評価を得られました。</p>	
	改善点	<p>・出前講座については引き続き感染対策を意識した実施方法、実施内容の検討が必要です。</p> <p>・町田市バイオエネルギーセンターの稼働に伴いDVD「資源とごみの行方」の内容変更が必須です。</p>

【2022年度の指標と目標】

指標	2022年度目標	2022年度実績
出前講座	60回	
3R公開講座	15回	
イベント出展	5回	
主催イベント実施	1回	
キャンペーン実施	5回	
町田市バイオエネルギーセンターでの3R公開講座	3回	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容													
<p>・幼稚園・保育園、学童保育クラブ、小学校、中学校、町内会・自治会等での出前講座の内容をごみに特化したものでなく環境全体の要素取り入れた内容を検討し、実施します。</p> <p>・子ども向けの講座については、受講後に各家庭で子どもから保護者へごみ減量啓発の発信ができるような仕組みを作ります。また通常の対面式での講座の他にもWEBやリモートでの非対面式の講座を実施します。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
出前講座	保育園・幼稚園、学童保育クラブ、小学校、中学校												
	町内会・自治会等												
3R公開講座	芹ヶ谷公園												
	イベントなど												
キャンペーン企画・主催	水切りキャンペーン												
	マイボトルキャンペーン（ホームタウンチーム以外）												
	サイズダウンチャレンジ												
町田市バイオエネルギーセンターでの3R公開講座	実施												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>子ども向け講座の受講後に各家庭で子どもから親へごみ減量啓発の発信ができるような仕組みづくりは、ごみ減量に対する市民の意識向上を図る上で効果的な取り組みだと思っておりますので、ぜひ強化・拡充いただきたい。</p>	<p>例えば、「リデュース」の行動事例で“ご飯は残さないで食べよう”と同時に親御さんには“食べられる分だけ作ってね”と言うことも“リデュース”だよと伝えていきます。紙のリサイクルについて児童自身が先生になって家で説明をすることを促して家族で3Rに取り組めるような仕掛けを内容に盛り込んでいます。</p>

実施手法	推進主体
1-1-2 担い手づくりに向けた取組の推進	環境政策課

【指標と目標値】

指標	2021年度目標	2021年度実績
ごみ減量サポーターの活動支援	2回	6回
町田市3R市民リーダーの活動支援	3回	1回

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量サポーターが中心となって地域で活動できるよう支援し、地域内でごみ減量の意識が高まることをねらいます。 町田市3R市民リーダーが行う啓発活動を支援し、市民どうしてごみ減量の意識を高めあうことをねらうとともに、新たな3R市民リーダーの担い手を発掘していきます。 													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ごみ減量サポーターの活動支援	ごみ減量に関する情報の提供												
町田市3R市民リーダーの活動支援	イベントなどへのブース出展												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
取組経過	評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> ごみ減量サポーターに、「3Rマップ」「ごみナクナレ」等の刊行物、「ごみ減量サポーターニュース」「ごみ減量サポーターガイド」といったごみ減量サポーター向けの資料を送付しました。また、ごみ減量サポーターの「ごみの減量や資源化」についての知識向上を目的に研修会と町田市バイオエネルギーセンター施設の見学会を1月に開催しました。 3R市民リーダーの活動支援については、10月に行った「さんあーる広場in町田シバヒロ」に参加いただくことで、活動の場を提供しました。しかしこれ以外の時期については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、予定していたイベント等が中止になったことに伴い、目標の回数を達成することができませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の刊行物やごみ減量サポーターニュースの配布、研修会を通してごみ減量に関する情報を提供することで、サポーターの活動支援を行うことができました。 	
	改善点	
	<ul style="list-style-type: none"> 研修会・施設見学会は、ごみ減量サポーターの方々に地域で活動してもらうことが重要であるため、開催時期を2021度より早い時期に設定する必要があります。 	

【2022年度の指標と目標値】

指標	2022年度目標	2022年度実績
ごみ減量サポーターの活動支援	2回	
町田市3R市民リーダーの活動支援	3回	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容													
<p>・ごみ減量サポーターが中心となって地域で活動できるよう支援し、地域内でごみ減量の意識が高まることをねらいます。</p> <p>・町田市3R市民リーダーが行う啓発活動を支援し、市民どうしてごみ減量の意識を高めあうことをねらいます。また、イベント出展以外の啓発活動支援について検討します。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ごみ減量サポーターの活動支援	ごみ減量に関する情報の提供												
町田市3R市民リーダーの活動支援	イベントのブース出展など活躍の場の提供												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>サポーターとリーダーの役割がはっきりしない。明確にすることによって活動が活発化するのではないか。また、両者が協力して行うことができる事業についても検討してみてはどうか。</p>	<p>ごみ減量サポーターは、自治会町内会より推薦を受け、市が委嘱し地域でのごみ減量の活動の中心となっていた方です。</p> <p>3R市民リーダーは公募によりイベントなどごみ減量啓発の担い手になっていただく方です。</p> <p>将来的には、ごみ減量の啓発を自主的に進められるよう養成に努めているところです。</p>

実施手法	推進主体
1-2-1 飲食店・スーパー・百貨店等の事業者との協働による取組の推進	環境政策課

【指標と目標値】

指標	2021年度目標	2021年度実績
リサイクル推進店と協働して行うキャンペーンの展開	5回	2回
食べきり協力店制度の認知	随時	随時

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
<ul style="list-style-type: none"> リサイクル推進店と協働して、来客者に対する啓発を行うことで、市民のごみ減量意識の向上を図ります。 まちだ☆おいしい食べきり協力店の主旨、制度などを飲食店、小売店等にPRし、主体的に取り組んでいただく店舗の増を目指すとともに、各店舗の取組を市民にPRし認知してもらうことで、食べきり協力店に認定されることを小売店等がメリットと感じられることを目指します。 													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
リサイクル推進店と協働して行うキャンペーンの展開	市内スーパーなどと協働し召し上げられキャンペーン（仮名）を実施する。												
	コンビニなどで手前から食品を取るキャンペーン												
食べきり協力店制度の浸透	広報、ホームページなどで各店舗の取組の周知												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	△
取組経過	評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> 4月から3か月間セブンイレブンを中心に消費期限の近い商品を取ってもらう「てまえどりキャンペーン」を行い食品ロスに対する意識啓発を行いました。 新型コロナ感染防止の観点から、10月の食品ロス削減月間に2回だけでしたが、リサイクル推進店に場所を提供していただき、食品ロス削減のためのチラシ及び景品の配布による啓発を行いました。 年末年始（12月1日から1月31日まで）に「まちだ☆おいしい食べきりキャンペーン」のポスターを、市内公共施設、リサイクル推進店等の小売店、神奈川中央交通バスの車内などに掲示しました（1回）。 料理提供の調整や食べ残し削減の呼びかけなどに協力いただく「まちだ☆おいしい食べきり協力店」の制度紹介を町田商工会議所において実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても対策をし、推進店の店頭でキャンペーンを実施できましたが、目標を下回りました。また、「まちだ☆おいしい食べきり協力店」のPRを積極的に行い、認定数を6店舗から8店舗に、2店舗増やすことができました。 	
	改善点	
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、店頭でのPRが難しい状況ですが、事業者と違った方法での協働方法を検討する必要があります。 	

【2022年度の指標と目標値】

指標	2022年度目標	2022年度実績
リサイクル推進店と協働して行うキャンペーンの展開	5回	
食べきり協力店制度の認知	随時	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容
<ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル推進店と連絡を密に取り、賞味期限、消費期限などをPRすることができないか検討実施します。 ・まちだ☆おいしい食べきり協力店の主旨、制度などを飲食店、小売店等にPRし、主体的に取り組んでいただく店舗の増を目指すとともに、各店舗の取組を市民にPRし認知してもらうことで、食べきり協力店に認定されることを小売店等がメリットと感じられることを目指します。

2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
リサイクル推進店と協働して行うキャンペーンの展開	市内スーパーなどと協働し、めしあがれキャンペーンを実施する。												
食べきり協力店制度の浸透	広報、ホームページなどで各店舗の取組の周知												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
事業者向けゴミ減量セミナーの実施をバイオエネルギーセンターで実施し、見学もカリキュラムに入れてはどうか。	事業者に向けたゴミ減量啓発は力を入れているところであります。事業者向けゴミ減量セミナーについては実施に向けて検討します。

実施手法	推進主体
1-2-2 スポーツチーム・教育機関等団体との協働による取組の推進	環境政策課

【指標と目標値】

指標	2021年度目標	2021年度実績
ホームタウンチームと連携した取組	3回	4回
大学と連携した取組	1回	1回

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
<p>・市民にとって親しみのあるFC町田ゼルビア、ASVペスカドーラ町田、キャノンイーグルスなどのホームタウンチームと連携した取組を行うことで、ごみに興味のない市民にとってごみ減量を身近なこととして捉えてもらえることを目指します。</p> <p>・ごみに関する研究を行っている大学と連携し、若い世代からごみ減量に関する情報を発信してもらえるような取組を検討します。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ホームタウンチームと連携した取組	マイボトルキャンペーン		■		■			■					
	さんあーる広場			■									
大学と連携した取組	学生をターゲットにしたイベントの企画・実施				■	■	■	■	■	■			

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
取組経過	評価の理由	
<p>・FC町田ゼルビアホームゲームの来場者に、FC町田ゼルビアマイボトルステッカー等を配布し、マイボトルを持ち歩くことで、ごみ減量の行動になることを呼びかけました。</p> <p>・3R施設見学ツアーでは、昼食場所にゼルビアキッチンを提供していただく等、FC町田ゼルビアと協働で事業を実施しました。</p> <p>・「さんあーる広場in町田シバヒロ」では、FC町田ゼルビアとASVペスカドーラ町田に出展していただき、共に3R推進をPRしました。</p> <p>・麻布大学と連携し、芹ヶ谷公園「Future Park Lab 2021Autumn」に参加して、使い捨てプラスチック容器について市民に考えてもらう取組を行いました。</p>	<p>・ホームタウンチームや大学との連携について、両方とも十分に取組みを行うことができました。</p>	
	<p>改善点</p> <p>・今後も引き続き、ホームタウンチーム、大学と連携して市民に向けて、効果的な事業、情報発信を行っていく必要があります。</p>	

【2022年度の指標と目標値】

指標	2022年度目標	2022年度実績
ホームタウンチームと連携した取組	7回3回	
大学と連携した取組	2回1回	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみに興味のない市民にとってごみ減量を身近なこととして捉えてもらえることを狙って、市民にとって親しみのあるFC町田ゼルビア、ASVペスカドーラ町田などのホームタウンチームと引き続き連携します。 ・ごみに関する研究を行っている麻布大学などと連携し、若い世代からごみ減量に関する情報を発信してもらえるような取組を検討します。

2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ホームタウンチームと連携した取組	マイボトルキャンペーン		■		■			■					
	さんあーる広場			■									
大学と連携した取組	学生をターゲットにしたイベントの企画・実施				■	■	■	■	■				

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>スポーツチームとの協働推進はさまざまな人たちにごみ減量の大切さを理解してもらうチャンスであると思う。特に観戦する人々への啓発は重要であり、観戦の場を離れてもごみ減量への意識が継続できるのではないか。選手たちのメッセージなどにも期待したい。</p>	<p>ごみ減量に関する選手からのメッセージの発信について、ホームタウンチームと協議し、PRに貢献してもらうよう進めます。</p>

実施手法	推進主体
1-3-1 地域が行う取組の支援	環境政策課

【指標と目標値】

指標	2021年度目標	2021年度実績
地域リサイクル広場の支援	検討	実施
生ごみ資源化団体の支援	周知	未実施

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<ul style="list-style-type: none"> ・現在開催されている地域リサイクル広場の開催を支援を継続するとともに、ノウハウについて地域から情報収集し、新たな地域リサイクル広場の開催につなげていきます。 ・生ごみの減量に自主的に取り組んでいる団体の活動を支援するとともに、その活動を多くの市民に周知することで、新たな参加者が生まれるような仕組みを検討します。 													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域リサイクル広場の支援	情報収集		■	■	■	■							
	新たな地域リサイクル広場開催の検討							■	■	■	■		
生ごみ資源化団体の支援	広報誌やHPなどで周知	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	△
取組経過	評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域リサイクル広場の開催支援の継続を行いました。2021年度は新たな協定団体を増やすことはできませんでしたが、引き続き、協定団体を増やすために、自治会町内会に周知を行っていきます。 ・生ごみ資源化団体の支援については、2021年度は活動の支援、活動内容の周知等は実施しませんでした。 ・大型生ごみ処理機からでる一次生成物を地域で処理することができるか町田里山農の会と実証実験を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に支援はできましたが、新たな地域リサイクル広場を増やすことができませんでした。 ・生ごみ資源団体については、活動の報告がなく支援できませんでした。 	
	改善点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域リサイクル広場の周知を工夫し地域リサイクル広場の開催に興味を持ってもらえるような周知を行っていきます。 	

【2022年度の指標と目標値】

指標	2022年度目標	2022年度実績
地域リサイクル広場の支援	検討	
生ごみ資源化団体の支援	周知	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容													
<p>・現在開催されている地域リサイクル広場の開催の支援を継続するとともに、ノウハウや成功例について地域から情報収集します。また、新たな地域リサイクル広場の開催や来場者数の増加のため、ごみナクナーレやSNSで周知します。</p> <p>・生ごみの減量に自主的に取り組んでいる団体の活動を支援するとともに、その活動を多くの市民に周知し、新たな参加者が生まれるような仕組みを検討します。</p> <p>・生ごみ資源化団体の調査を行います。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域リサイクル広場の支援	情報収集		■	■	■	■							
	新たな地域リサイクル広場開催の検討							■	■	■	■		
生ごみ資源化団体の支援	広報誌やHPなどで周知	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
リサイクル広場の成功例や体験談などをもっとPRしたほうが良いのではないかと。	成功例や体験談を聞き取り、広報誌やSNSを利用して周知します。

実施手法	推進主体
1-3-2 事業者が行う取組の支援	環境政策課

【指標と目標値】

指標	2021年度目標	2021年度実績
フードドライブの支援	周知	周知
企業CSRの周知	周知	周知

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
<p>・事業者が行っているフードドライブについて情報収集し、広く周知することで活動の輪を広げる仕掛けを行います。</p> <p>・主に市内業者が行っているCSR（社会をよくするためのボランティア）のうち、特にごみ減量に関する活動について情報収集し、広く周知することで、市民のごみ減量意識の向上に寄与する取組を検討します。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
フードドライブの支援	情報収集												
	情報提供												
企業CSRの周知	情報収集												
	情報提供												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価
取組経過	○
<p>■まちだ3R賞について</p> <p>・5件の事業所を表彰しました。また2020年度受賞の事業所の情報を市ホームページ、環境広報紙ECOまちだ、環境月間パネル展で周知しました。</p> <p>■事業系生ごみの削減について</p> <p>・南町田グランベリーパークから排出される食品廃棄物について、食品リサイクルを行うための支援を行いました。</p> <p>■フードドライブについて</p> <p>・一部のリサイクル広場で、フードドライブの実施場所を提供しています。また、まちだ〇ごと大作戦、町内会・自治会等、企業の取組でもフードドライブが広がっています。これらの取組について、関係各所と連携して情報収集を行い、町田市のホームページで随時、情報発信を行っております。</p> <p>■企業との取組について</p> <p>・東急電鉄(株)とユニリーバが協働で取り組む、容器包装プラスチックを南町田グランベリーパーク駅構内で回収してリサイクルする活動を紹介しました。</p>	<p>・フードドライブについては、開催場所や開催情報について支援することができました。</p>
	改善点
	<p>・環境問題に取り組む企業が増えていることから、特に協定など締結していなくても、当該企業の取組をPRできるような仕組みを整備する必要があります。</p>

【2022年度の指標と目標値】

指標	2022年度目標	2022年度実績
フードドライブの支援	周知	
企業CSRの周知	周知	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容
<ul style="list-style-type: none"> ・事業者が行っているフードドライブについて情報収集し、広く周知することで活動の輪を広げる仕掛けを行います。 ・主に市内業者が行っているCSR（社会をよくするためのボランティア）のうち、特にごみ減量に関する活動について情報収集し、広く周知することで、市民のごみ減量意識の向上に寄与する取組を検討します。

2022年度スケジュール		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
項目	詳細												
フードドライブの支援	情報収集												
	情報提供												
企業CSRの周知	情報収集												
	情報提供												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>フードドライブの実施状況や何がどのくらい入荷し、どこの団体にどうなったか詳しく知りたい。提供する側、される側どちらにとってもメリットになることで、見えない貧困やフードロスを削減できる重要な取り組みではないか。</p>	<p>食品ロスの削減に向けて、フードドライブを実施している団体から情報収集を行います。</p>

実施手法	推進主体
1-3-3 各種情報ツールを活用した情報発信	環境政策課

【指標と目標値】

指標	2021年度目標	2021年度実績
町田市ホームページ等による情報発信	随時	随時
SNS、動画、メール配信	随時	随時

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>・町田市ホームページやごみ分別アプリを利用して、ごみ量の現状や、ごみの適正排出に関する情報発信を行うことで、分別の周知徹底を図ります。</p> <p>また、情報発信等により、ごみ分別アプリの普及率向上に努めます。</p> <p>・Twitter、InstagramなどのSNS、メール配信や、YouTubeなどの動画配信により、多くの市民に季節や状況に応じた情報提供を行います。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
町田市ホームページや ごみ分別アプリ	ホームページの定期的な見直し・更新												
	アプリによる時代に合わせた分別内容の更新												
Twitter、Instagramなどの SNS、メール配信や、 YouTubeなどの動画配信	SNSによるイベントの告知やごみ減量啓発の発信												
	YouTube動画配信によるごみ減量啓発の発信												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
取組経過	評価の理由	
<p>■「使用済み紙おむつのリサイクル推進に向けた実証事業」で、SNS（Twitter・Instagram）、メール・LINE配信システム、ごみ分別アプリを活用した周知を行いました。</p> <p>■まちだ3R賞について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちだ3R賞の申請受付について広報まちだに記事掲載しました。また、2020年度受賞の事業所の情報を、市ホームページ、環境広報紙「ECOまちだ」等に掲載しました。 <p>■事業系紙類について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所から出る紙ごみを減らすことについての記事を、ECOまちだに1回、ハスのんインスタとTwitterに2回ずつ掲載しました。 <p>■災害時等の教育・訓練について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が発生する前に災害時の適正排出を知っていただくため、2022年1月15日号の環境広報紙「ECOまちだ」に記事を掲載し周知しました。また、2022年度に配布する「資源とごみの出し方ガイド」に掲載しました。 <p>■SNS等を使用した啓発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Twitter、InstagramなどのSNSの投稿頻度を上げることで多くの市民に季節や状況に応じた情報提供をすることができました。（2021年度は、Twitter・Instagramともに86回の投稿を行いました。）また、イベント情報などの告知によりイベントや講座への市民の参加にもつなげることができました。YouTube動画配信「さんあーるチャンネル」の配信することで、町田市や市民、事業者のごみ減量の取り組みをよりわかりやすく市民に発信できました。メール配信サービスでは、悪天候時の収集業務の状況やコロナによるイベントなどの開催の有無を多くの市民に伝えることができました。 	<p>・フォロワー数は、年度当初より182増加し、SNSをみてイベントにきたという声を多くいただきました。</p>	
	改善点	
	<p>・多くの人にSNSやYouTubeなどのWEBを利用してもらえるように広報紙やイベント、講座などで教育機関、市民団体へ周知して聞く必要があります。また、周知内容がわかりやすい内容になるよう、改善していく必要があります。</p>	

【2022年度の指標と目標値】

指標	2022年度目標	2022年度実績
町田市ホームページ等による情報発信	随時	
SNS、動画、メール配信	随時	
チラシの配布や啓発看板の設置による情報提供	随時	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
<ul style="list-style-type: none"> ・町田市ホームページやごみ分別アプリを利用して、ごみ量の現状や、ごみの適正排出に関する情報発信を行うことで、分別の周知徹底を図ります。また、情報発信等により、ごみ分別アプリの普及率向上に努めます。 ・Twitter、InstagramなどのSNS、メール配信や、YouTubeなどの動画配信により、多くの市民に関心を持ってもらえるよう、季節や社会的に話題となっている内容など検討し情報提供を行います。 ・チラシの配布や啓発看板の設置による情報提供を行います。 													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
町田市ホームページや ごみ分別アプリ	ホームページの定期的な見直し・更新												
	アプリによる時代に合わせた分別内容の更新												
Twitter、Instagramなどの SNS、メール配信や、 YouTubeなどの動画配信	SNSによるイベントの告知やごみ減量啓発の発信												
	YouTube動画配信によるごみ減量啓発の発信												
チラシの配布や啓発看板の 設置による情報提供	チラシ、回覧版による情報提供												
	啓発看板、張り紙による情報提供												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
SNSによる発信は誰にどのような目的で発信するのかを明確にすべきだと思う。また、その発信によって行動に移した市民にインタビューを行っても良いのではないか。	広報誌などの紙媒体を見なくなっている主に若い世代をターゲットとし、ごみ減量の周知を目的としています。イベントでSNSを見て参加されたとの声もいただいています。今後は、その方々からさらに聞き取りを行います。

取組施策	推進主体
2-1-1 生ごみの発生抑制	環境政策課

【指標と目標値】

指標①-1	食品ロスの削減を総合的に推進する取組					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
実績値	—	2回/年				
指標①-2	補助金を申請した家庭用生ごみ処理機の利用台数（累計）					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		1200	1,400	1,600	1,800	2,000台
実績値	773台	1,278				

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
<p>①-1・食品ロスの削減を総合的に推進する体制づくりに向け、フードバンクやフードドライブを行っている団体との連携に向け、市内で活動している団体の調査を行います。</p> <p>①-1・食品ロス削減推進計画の策定を検討するとともに、先行自治体等から情報収集を行います。</p> <p>①-1・賞味期限、消費期限を正しく理解していただき期限内に食べきってもらうこと等、食品ロスの削減につながる情報収集を行い、町田市ホームページやSNSを活用し周知を行います。</p> <p>①-2・生ごみを家庭で自家処理する方法として、生ごみ処理機やダンボールコンポストの拡充について、広報誌、SNS等や販売店でPRを強化し、家庭用生ごみ処理機等購入費補助制度の利用を推進します。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
食品ロス削減を推進するための調査・情報収集（環境政策課）	フードバンク・フードドライブを行っている団体の情報収集												
	食品ロス削減推進計画の情報収集												
食品ロス削減に関する取組（3R推進課）	情報収集												
	周知活動												
生ごみの自家処理を推進する取組（3R推進課）	家庭用生ごみ処理機の補助制度周知・補助金交付												
	家庭用生ごみ処理機の補助制度次年度準備												
	自家処理方法の調査・分析、情報発信												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<p>・フードドライブの仕組み構築に向けて、社会福祉協議会、まちだエコライフ推進公社から情報を収集しました。</p> <p>・食品ロス削減推進計画について、先行自治体及び近隣の今後の策定予定について情報収集を行いました。</p> <p>・賞味期限・消費期限については、10月の食品ロス削減月間に「今が食べごろめしあがれキャンペーン」を実施し、リサイクル推進店50店舗のうち2店舗の店頭で来店者に対し啓発をしました。町田市ホームページにも同様のコンテンツを掲載し、SNSでも配信しました。また、まちだごみ情報紙「ごみナクナレ」に食品ロスをテーマとして記事を掲載しました。</p> <p>・家庭用生ごみ処理機等購入補助制度について、ごみ減量サポーターを通じて町内会・自治会に周知しました。その結果、12月上旬に当初予算額の上限に達し、受付を終了しました。</p>	<p>・市内で活動する団体や先行自治体等の状況について、予定通り情報収集等を行うことができました。</p> <p>・食品ロス削減の取り組み、家庭用生ごみ処理機の利用台数の両方について、目標値を達成することができました。</p>	
	改善点	
	<p>・フードドライブの仕組み構築に向け、既に行っている団体等との連携を検討する必要があります。</p> <p>・食品ロスをより一層削減するため、食品ロス削減推進計画を策定する必要があります。</p> <p>・食品ロス削減に関する取り組みは、コロナ禍の飲食店全体の状況が厳しい中で、効果的な情報発信方法を検討する必要があります。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で家にいる時間が増えたこととともない、生ごみが増えているため、減量の必要を伝える必要があります。</p> <p>・家庭用生ごみ処理機を利用した際に出る一次生成物について、ごみとして出されないような工夫が必要です。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
<p>①-1・食品ロスの削減を総合的に推進する体制づくりにを目指し、より多くの市民が利用できるよう、フードバンクやフードドライブを行っている団体との連携等を検討します。</p> <p>①-1・食品ロス削減推進計画の策定に向け、先行自治体等の調査・情報収集を行い、施策の方向性を検討します。また、計画の基礎となる骨子を策定します。</p> <p>①-1・賞味期限、消費期限を正しく理解していただいて期限内に食べきってもらうこと等、食品ロスの削減につながる情報収集を行い、町田市ホームページやSNSを活用し周知を行います。</p> <p>①-2・生ごみを家庭で自家処理する方法として、生ごみ処理機やダンボールコンポストの拡充について、広報誌、SNS等や販売店でPRを強化し、家庭用生ごみ処理機等購入費補助制度の利用を推進します。</p> <p>①-2・生ごみ処理機から出た一次生成物の利用について情報提供できるよう検討します。</p> <p>①-2・生ごみ処理機等購入補助制度利用者にアンケートをとり、事業効果を検証します。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
食品ロス削減を推進するための調査・情報収集	フードバンク・フードドライブを行っている団体との連携等の検討												
	食品ロス削減推進計画の方向性の検討、骨子策定												
食品ロス削減に関する取組	情報収集												
	周知活動												
生ごみの自家処理を推進する取組	家庭用生ごみ処理機の補助制度周知・補助金交付												
	家庭用生ごみ処理機の補助制度次年度準備												
	自家処理方法の調査・分析、情報発信												
【審議会からの意見】													
審議会からの主な意見						市の対応							
家庭用生ごみ処理機の補助制度について、生ごみ処理機購入後の利用状況を定期的に調査し、事業効果を測定すべきではないか。						補助対象者からのアンケート結果をもとに、事業効果の検証を行います。							

取組施策	推進主体
2-2-1 プラスチックごみの発生抑制	環境政策課

【指標と目標値】

指標①-1	使い捨てプラスチック代替品に関する情報発信回数					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		5回/年	10回/年	13回/年	17回/年	20回/年
実績値	—	5回/年				
指標①-2	マイボトルが利用できる店舗数（累計）					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		32店	35店	40店	45店	50店
実績値	31店	31店				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>①-1・使い捨てプラスチック代替品については、情報発信（SNSなど）をします。また次年度に向けて、それ以外での媒体でも発信ができないか検討します。</p> <p>①-2・マイボトル利用可能店については、新規店舗募集の告知（市公式ホームページなど）を行います。また次年度に向けて、それ以外の方法でも店舗数を増やせる取組がないか検討します。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
使い捨てプラスチック代替品について	SNS												
	新たな発信方法の検討												
マイボトル利用可能店について	HP												
	店舗数増加策検討												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・使い捨てプラスチックの情報発信については、まちだごみ情報紙「ごみナクナーレ」での特集の掲載、町田市ホームページでの新規コンテンツ掲載、SNSでの発信のほか、市立中央図書館での特集コーナーの展開、新規市民向け講座開始など、様々な方法で実施することができました。 ・マイボトルOK店については、引き続きマイボトルOK店ガイドブックの配布などにより周知を図っています。 ・新規認定店舗数が増加する取組について検討しましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、新たな店舗を認定することはできませんでした。 ・麻布大学と協働して、「FutureParkLab2021Autumn」でマイボトルOK店をPRしました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使い捨てプラスチック、マイボトルOK店、共に情報発信については、様々な方法で情報発信を行うことができました。 	
	改善点	
	<ul style="list-style-type: none"> ・使い捨てプラスチック代替品については、環境問題への意識の高まりや新しい法律・制度の取り組みが始まるため、情報収集、情報発信を強化し、プラスチックごみの発生抑制につなげる必要があります。 ・マイボトルOK店については、新型コロナウイルス感染症の影響により飲食店全体の状況が厳しい中で、効果的な店舗増加策を検討する必要があります。 	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容	
<p>①-1・使い捨てプラスチック代替品については、情報発信（SNSなど）をします。また次年度に向けて、それ以外での媒体でも発信ができないか検討します。</p> <p>①-2・マイボトル利用可能店については、新規店舗募集の告知（市公式ホームページなど）を行います。また次年度に向けて、それ以外の方法でも店舗数を増やせる取組がないか検討します。</p> <p>・公共施設に給水スポットの設置を検討します。</p>	

2022年度スケジュール		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
項目	詳細												
使い捨てプラスチック代替品について	SNS												
	新たな発信方法の検討												
マイボトル利用可能店について	HP												
	店舗数増加策検討												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>マイボトル、マイバシ(箸)、マイスプーン等持ち歩くことが当たり前のことと思える、それが社会貢献していることと思える社会にしてほしい。</p>	<p>一人ひとりのちょっとした心がけで、ごみ減量、環境保全ができることを、引き続き啓発してまいります。</p>

取組施策	推進主体
2-2-2 プラスチックごみの資源化の推進	環境政策課

【指標と目標値】

指標①	容器包装プラスチック分別協力率（回収地域）					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		27%	30%	33%	36%	40%
実績値	24%	37% (実績値)				

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
<p>①・プラスチック全般についてや、分かりにくい容器包装プラスチックの分別について、その時々旬な情報を取り入れることに留意して、説明会、出前講座等を通じて周知を図ります。</p> <p>①・回収した容器包装プラスチックのリサイクルについて周知を図ることで、分別意欲の向上を図ります。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
分別ルール周知	周知方法検討												
	説明会等の実施												
リサイクルに関する情報提供	情報収集												
	情報提供												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> 容器包装プラスチック用指定収集袋のデザインの見直し、容器包装プラスチックの分別を案内するものに変更しました。 「ごみナクナーレ」でプラスチックを特集し、市民の方から「分別をしようと思いました」などの意見をいただきました。 子どもを対象とした「プラスチック3R講座」を2021年8月27日に開催し、容器包装プラスチックも含めたプラスチックごみについて学んでいただき、減量の必要があることを知ってもらいました。 	<ul style="list-style-type: none"> ごみナクナーレでのプラスチック特集、子供向け「プラスチック講座」などの新たな取り組みを行い、効果的な情報提供を行うことができました。 	
	改善点	
	<ul style="list-style-type: none"> 容器包装プラスチックを全市的に回収するまでの間は、全市的にはプラスチック全般についての情報発信、回収実施地域では容器包装プラスチックについての情報発信を行う等、啓発の手法や内容に留意する必要があります。 	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
①・プラスチック全般についてや、分かりにくい容器包装プラスチックの分別について、その時々旬な情報を取り入れることに留意して、説明会、出前講座等を通じて周知を図ります。 ①・回収した容器包装プラスチックのリサイクルについて周知を図ることで、分別意欲の向上を図ります。													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
分別ルール周知	周知方法検討	■	■	■	■						■	■	■
	説明会等の実施				■	■	■	■	■	■	■		
リサイクルに関する情報提供	情報収集	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	情報提供				■	■	■	■	■	■	■	■	■

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
容器包装プラスチックの説明は難しいが、どのような工夫を考えているか。	実物を張り付けたボードの使用やクイズ形式での説明などの工夫を行っています。

取組施策	推進主体
2-3-1 リデュース・リユースの推進	環境政策課

【指標と目標値】

指標①-1	リデュースに関する情報提供回数					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		4回/年	8回/年	12回/年	16回/年	20回/年
実績値	2回/年	4回/年				
指標①-2	リユースにつながる取組の実施回数					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		3回/年	4回/年	6回/年	8回/年	10回/年
実績値	3回/年	13回/年				
指標①-3	粗大ごみのうち再生販売した重量					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		75 t/年	150 t/年	150 t/年	150 t/年	150 t/年
実績値	74 t/年	57 t/年 (実績値)				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>①-1・リデュースについては、情報発信（SNSなど）をします。また次年度に向けて、それ以外での媒体でも発信ができないか検討します。</p> <p>・さまざまな事業を行う際に、ごみ減量、発生抑制のきっかけとなるような情報を併せて発信します。</p> <p>①-2・リユース業者との連携を検討するとともに、リユースの取組について、ホームページやチラシ等で市民へ周知します。また子ども用品については、市民から回収し、配布事業を実施します。</p> <p>①-3・粗大ごみ再生品を購入してもらいやすくなる仕掛けについて検討するとともに、より多くの粗大ごみを再生品として活かすことができるような取組を行います。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
リユース品事業	子ども用リユース品事業の実施検討・事前準備												
	子ども用リユース品事業の実施・振り返り												
	リユース業者との連携の検討												
粗大ごみ再生販売	購入促進手法の検討												
	再生品購入促進周知												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<p>①-1：Twitter、Instagramなどで、「ごみ減量アイデア」のPRや季節の話題に合わせたごみ発生抑制に係る情報提供など、多くの市民に情報発信をすることができました。（2021年度は、Twitter・Instagramともに86回の投稿を行いました。）YouTube動画配信「さんあーるチャンネル」の配信することで、町田市や市民、事業者のごみ発生抑制の取り組みをよりわかりやすく市民に発信できました。（2021年度は、18回の配信を行いました。）今後も身近な情報をいち早く発信していきます。</p> <p>①-2：リユース業者との連携については、検討したものの実現には至りませんでした。子ども用リユース品事業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて規模を縮小しましたが、予定通りの回数（回収会5、配布会5）実施できました。また、（一財）まちだエコライフ推進社が行うフリーマーケット（3回）の開催を支援しました。</p> <p>①-3：緊急事態宣言を受けてまちエコショップを休止した期間もありましたが、2月にテレビ取材を受けたことにより粗大ごみ再生品の周知ができたのではないかと考えられます。今後も、より多くの粗大ごみを再生品として活かせるような取組を検討していきます。</p>	<p>・リデュースに関する情報提供、リユースにつながる取組実施回数とも、目標値を上回りました。</p>	
	改善点	
	<p>・リデュースの推進については、家庭内で実践しやすい取組を検討し、情報発信していく必要があります。</p> <p>・リユースについては、多くの事業者が取組を行っていることから、連携を強化する必要があるとともに、その取組を利用していただけるよう市民に意識していただくことが重要です。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容	
<p>①-1・Twitter、InstagramなどのSNS、メール配信や、YouTubeなどの動画配信により、多くの市民に季節や状況に応じた情報提供を行います。</p> <p>①-2・子どもリユース品事業については、新型コロナウイルスの流行状況を確認しながら実施します。リユース業者との連携については、取り組んでいる事業者の情報となるべく収集し、連携の可能性を引き続き検討します。</p> <p>①-3・粗大ごみ再生品を購入してもらいやすくなる仕掛けについて検討するとともに、より多くの粗大ごみを再生品として活かすことができるような取組を行います。</p>	

2022年度スケジュール		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
リユース品事業	子どもリユース品事業の実施検討・事前準備												
	子どもリユース品事業の実施・振り返り												
	リユース業者との連携の検討												
粗大ごみ再生販売	購入促進手法の検討												
	再生品購入促進周知												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
高齢化による家財整理での使える物の有効活用を。	現在、市民が直接、清掃工場に持ち込んだ粗大ごみは再生販売を行っておりませんが、今後はこれらも再生販売で活用できるよう検討を行います。

取組施策	推進主体
2-3-2 リサイクルの推進	環境政策課

【指標と目標値】

指標①	雑がみの分別に関する情報提供回数					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		5回/年	10回/年	13回/年	17回/年	20回/年
実績値	5回/年	7回/年				
指標②	リサイクル広場来場者数					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		31,000人/年	32,000人/年	33,000人/年	34,000人/年	36,000人/年
実績値	30,329人/年	19,250人/年				
指標③	小売店独自の店頭回収の情報提供回数					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		4回/年	8回/年	12回/年	16回/年	20回/年
実績値	-	0回/年				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>①・雑がみ分別については、効果的な情報発信の仕方について検討し、実施します。</p> <p>②・リサイクル広場についてさらに周知し、多くの人に取組を知ってもらうとともに、地域リサイクル広場の新たな担い手を発掘し、開催場所を増やすことで、来場者数の増加につなげます。</p> <p>③・リサイクル推進店等独自に資源回収を行っている小売店の取組について、さまざまな媒体を利用して周知します。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
雑がみ分別情報提供	情報収集・効果的な手法の検討	■	■	■	■	■	■						
	情報発信						■	■	■	■	■	■	■
リサイクル広場PR	リサイクル広場に関する情報発信	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	新規の地域リサイクル広場開拓	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
独自店頭回収情報提供	情報収集	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	情報提供			■			■		■				■

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	△
1年間の総括	評価の理由	
<p>・雑がみ分別については、引き続き雑がみ袋配布による転入者への分別の啓発を行うとともに、新たな手法として、YouTube「さんあーるチャンネル」でも分別の啓発を発信しました。</p> <p>・リサイクル広場については、新型コロナウイルスまん延防止の影響により、来場者数が減ってしまいました。</p> <p>・小売店独自の店頭回収の情報提供方法について検討しましたが実施には至りませんでした。</p>	<p>・②について、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、目標を達成することはできませんでした。</p> <p>・③について、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、小売店への聞き取りができなかったため、目標を達成することができませんでした。</p>	
	改善点	
	<p>・雑がみの分別ですが、ごみ袋の組成調査の結果からもまだ分別がしきれていません。</p> <p>・リサイクル広場の入場者数については、引き続き事業周知を図るとともに、来場者にリサイクルの大切さを感じていただいで繰り返し利用してもらうことを狙います。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容													
<p>①・雑がみ分別については、古紙業界の状況にも左右されることが多い中、影響の少ない部分の分別ルールを中心に周知を図ります。</p> <p>②・リサイクル広場についてさらに周知し、多くの人に取組を知ってもらうとともに、地域リサイクル広場の新たな担い手を発掘し、開催場所を増やすことで、来場者数の増加につなげます。SNS等による周知の強化を行います。</p> <p>③・リサイクル推進店等独自に資源回収を行っている小売店の取組について、さまざまな媒体を利用して周知します。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
雑がみ分別情報提供	情報収集・効果的な手法の検討												
	情報発信												
リサイクル広場PR	リサイクル広場に関する情報発信												
	新規の地域リサイクル広場開拓												
独自店頭回収情報提供	情報収集												
	情報提供												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>リサイクル広場の取組みについてのPRが必要ではないか。まだまだ存在を知らない市民が多い。SNSを使ったPRの強化に期待する。</p>	<p>SNSなどによる周知の強化を図ります。</p>

取組施策	推進主体
2-4-1 家庭系ごみ処理手数料の見直しの検討	環境政策課

【指標と目標値】

指標①	検討の実施						
	年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値			情報収集 見直しの検討	情報収集 見直しの検討	情報収集 見直しの検討	情報収集 見直しの検討	見直し (完了)
実績値		—	情報収集 見直しの検討				

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
①・ごみの減量化と資源化率向上、ごみ処理費用負担の公平化のため、町田市では2005年より指定収集袋制による家庭系ごみの有料化を実施しています。社会情勢等を踏まえたごみ袋の価格水準の妥当性の分析を行うとともに、周辺自治体の手数料等について情報収集を行います。													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調査・分析	周辺自治体の情報収集・分析												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<p>・周辺自治体の手数料の変動について情報収集を行いました。多摩地域については、2021年度に料金の改定を行った自治体はありませんでした。</p>	<p>・予定通り情報収集を行うことができました。</p>	
	改善点	
	<p>・今後の見直しを見据えて、周辺自治体の情報収集等を継続して行っていく必要があります。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容													
①・ごみの減量化と資源化率向上、ごみ処理費用負担の公平化のため、町田市では2005年より指定収集袋制による家庭系ごみの有料化を実施しています。社会情勢等を踏まえたごみ袋の価格水準の妥当性の分析を行うとともに、周辺自治体の手数料等について情報収集を行います。													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調査・分析	周辺自治体の情報収集・分析												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
家庭ごみの処理手数料の見直しについては、こういった方向に進む予定なのか。	周辺自治体の手数料や社会情勢等をふまえ、増額・減額のどちらも含めて検討を行います。

取組施策	推進主体
3-1-1 適正排出に向けた取組の推進	環境政策課

【指標と目標値】

指標①-1	指導の回数（大規模事業所、搬入物検査に基づくもの等）					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		120 回/年	130 回/年	130 回/年	130 回/年	130 回/年
実績値	125 回/年	94回/年				
指標①-2	講習会の回数（排出事業者向け、許可業者向け）					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年
実績値	2回/年	2回/年				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>【3R推進課】</p> <p>①-1・60件の大規模事業所に対して指導を行います。</p> <p>①-2・新任廃棄物管理責任者向けの講習会を1回実施します。</p> <p>・事業系ごみの適正排出を推進するための情報を、事業者向けのルールブックやHP等で周知します。</p> <p>【資源循環課】</p> <p>①-1・内容物検査を60回実施します。不適正搬入等の情報をもとに、排出事業者・許可業者への訪問指導を実施します。</p> <p>①-1・町田市バイオエネルギーセンター稼働後も、内容物検査を継続して実施するための体制等を運営事業者と調整します。</p> <p>①-2・不適正搬入に対する理解を深めていただけるよう事業系廃棄物に関する講習会を実施していきます。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大規模事業所の指導 (3R推進課)	大規模事業所の指導												
講習会の実施 (3R推進課)	新任廃棄物管理責任者向け講習会の準備												
	新任廃棄物管理責任者向け講習会の実施												
訪問指導 (資源循環課)	清掃工場内における事業系一般廃棄物の内容物検査の実施												
	町田市バイオエネルギーセンター移行後の内容物検査体制等の準備												
	不適正搬入事業者への訪問指導の実施												
講習会の開催 (資源循環課)	講習会に向けた情報収集及び検討												
	講習会の開催												
	講習会の開催効果の検証												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	△
1年間の総括	評価の理由	
<p>①-1・60件の大規模事業所に対しては電話による指導を行いました。</p> <p>①-2・新任廃棄物管理責任者向けの講習会は1回実施しました。当初、2022年1月21日に実施予定でしたが、まん延防止等重点措置が発出されたことから書面開催とし、参加申込者12名に対して講習会資料を送付しました。</p> <p>・事業系廃棄物適正処理ルールブックを改訂・作成しました（配布は2022年4月から）。</p> <p>①-1・新型コロナウイルス対策のため、内容物検査ができず、目視、聞き取り検査となったため、排出事業者の特定が難しく、訪問指導につなげられませんでした。</p> <p>①-1・2022年2月より新工場での内容物検査を新体制で開始し、34件の大規模事業所に指導を実施しました。</p> <p>①-2・許可業者の講習会は11月に書面開催で実施しました。</p>	<p>大規模事業所の指導については、新型コロナウイルス対策のため、想定していた指導ができませんでした。講習会については、目標どおりの取組みができました。</p>	
	改善点	
	<p>・新工場では運営事業者（SPC）が検査し、職員が立合って指導する形ですが、検査方法については協議して改善する必要があります。</p> <p>・検査の結果から排出事業者を特定し、訪問指導を実施するとともに、適正排出のルールの周知をする必要があります。</p> <p>・新任廃棄物管理責任者向けの講習会は、参加者を増やしていくことが必要になります。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
<p>①-1・60件の大規模事業所に対して指導を行います。</p> <p>①-1・内容物検査を240回実施します。不適正搬入等の情報をもとに、排出事業者・許可業者への訪問指導を実施します。</p> <p>①-1・新工場での内容物検査の体制等について、運営事業者（SPC）と継続して協議します。</p> <p>①-2・適正搬入に対する理解を深めていただけるよう事業系廃棄物に関する講習会を実施していきます。</p> <p>①-2・排出事業者、許可業者双方を対象にして講習会を行います。</p> <p>①-2・排出事業者に対し、廃棄物に関する理解を深めてもらうよう、継続して周知していきます。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大規模事業所の指導	大規模事業所の指導												
講習会の実施	講習会の準備												
	講習会の実施												
訪問指導	清掃工場内における事業系一般廃棄物の内容物検査の実施												
	町田市バイオエネルギーセンター移行後の内容物検査体制等の継続的調整												
	不適正搬入事業者への訪問指導の実施												
講習会の開催	講習会に向けた情報収集及び検討												
	講習会の開催												
	講習会の開催効果の検証												

【審議云々の意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>訪問指導や対面での講習会など、実際に事業者と会って指導ができる機会を増やした方がよい。</p>	<p>実際にごみを排出している事業者への指導を行わなければ効果が見込めないため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施できなかった訪問指導を感染防止に努めながら実施します。</p>

取組施策	推進主体
3-1-2 優良事例の公表・拡大	環境政策課

【指標と目標値】

指標①	表彰した事業者数（累計）						
	年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値			4者	10者	12者	14者	16者
実績値		2者	8者				

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
①・「まちだ3R賞」について、多くの事業者に参加してもらえるよう、3年間実施してきた中での課題等を解決するため制度を見直すとともに、申請受付、審査、賞状贈呈を行います。 ①・2020年度に表彰した事業所等の情報をホームページや環境広報紙ECOまちだ等で周知します。 ①・表彰事業者についてのインセンティブを検討します。													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
まちだ3R賞	制度の見直し												
	申請受付												
	審査												
	賞状贈呈												
	表彰した事業所等の情報の周知												
	表彰事業者についてのインセンティブを検討												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	◎
1年間の総括	評価の理由	
①「まちだ3R賞」の申請書の書式を修正した上で、10月20日から12月28日まで申請受付を行いました。申請のあった事業所について審査を行った結果、5件の事業所に賞状を贈呈することとなり、3月24日に賞状贈呈式を行いました。 ①2020年度受賞の事業所の情報を、市ホームページ、環境広報紙ECOまちだ2021年9月15日号、環境月間パネル展で周知しました。 ①インセンティブについては、申請した事業所に申請理由をヒアリングしました。その結果、事業所のイメージアップといったことの他に「自分の事業所の取組みがどの程度の位置にあるのか知りたい」、「自社に入っている清掃業者の取組みが報われるよう評価してもらいたい」といった意見を聞くことができました。	・より多くの事業者に応募いただけるように働きかけを行い、目標を上回る5者を表彰することができました。 改善点 ・賞状贈呈基準や申請書の書式等について、引き続き見直しをする必要があります。	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
①・「まちだ3R賞」賞状贈呈基準や申請書の書式等を見直し、申請受付、審査、賞状贈呈を行います。 ①・2021年度に表彰した事業所等の情報をホームページや環境広報紙ECOまちだ等で周知します。 ①・2021年度受賞事業所へのヒアリング結果も参考にインセンティブを検討します。 ①・受賞した事業者が適正排出の手本になるよう、適正排出について周知していきます。													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
まちだ3R賞	制度の見直し		■	■	■	■	■						
	申請受付							■	■	■			
	審査										■	■	
	賞状贈呈												■
	表彰した事業所等の情報の周知	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	表彰事業者についてのインセンティブを検討	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
優良事業者の表彰について、認知度向上策が必要ではないか。また、インセンティブについても、具体的な検討が求められる。	受賞した企業と意見交換を行い、インセンティブ等の検討をしていきます。

取組施策	推進主体
3-2-1 公共施設から排出される事業系ごみの削減	環境政策課

【指標と目標値】

指標①	排出される事業系ごみの削減率						
	年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値			2%削減	4%削減	6%削減	8%削減	10%削減
実績値		—	1.9%削減				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>①・市で管理している施設から排出される事業系ごみの削減に向け、各施設の管理責任者、環境推進員を対象とした研修を実施します。また、全庁的なエコオフィス活動の推進や庁内向けの広報誌等による啓発を行い、ごみの排出量削減に取り組めます。ごみの排出状況等を調査分析し、効果的なごみ減量の啓発を行います。</p> <p>参考数値 : 2019年度実績 市庁舎 総ごみ量：147.4 t 廃棄物：11.3 t 資源物：136.1 t (溶解分78.2 tを含む) 2020年度実績 市庁舎 総ごみ量：147.8 t 廃棄物：12.7 t 資源物：135.1 t (溶解分57.9 tを含む)</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
啓発	管理責任者、環境推進員への研修の実施	■	■	■									
	ごみの排出状況等の調査・分析				■	■	■	■	■	■	■	■	■
	全庁への啓発・庁内向け広報紙等による周知						■						■

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	△
1年間の総括	評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> 各施設の管理責任者・環境推進員を対象とした研修で、紙の使用量削減の啓発を行いました。 全職員が確認する電子掲示板を活用し、紙使用量・ごみ量の削減の啓発を行いました。 市長や幹部職員が出席する会議で、紙使用量・ごみ量削減に向けた周知を行いました。 市庁舎の庁舎管理担当課と情報共有を行い、市庁舎から排出されるごみ量を削減するため、市庁舎に設置していた常設のごみ箱を撤去しました。 	目標値に達成しなかったため。	
	改善点	
	市庁舎から排出されるごみ量を削減するため、効果的な啓発を検討する必要があります。	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
<p>①・市で管理している施設から排出される事業系ごみの削減に向け、全職員を対象とした研修を実施します。また、市庁舎から排出されるごみ量の傾向を分析・調査し、効果的な啓発を検討します。また、紙の使用量削減に向け、職員に対し啓発を行います。</p> <p>参考数値 : 2019年度実績値 市庁舎 総ごみ量：147.4 t 廃棄物：11.3 t 資源物：136.1 t（溶解分78.2 tを含む） 2021年度実績値 市庁舎 総ごみ量：144.6 t 廃棄物：13.7 t 資源物：130.9 t（溶解分55.8 tを含む）</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
啓発	全職員への研修の実施	■	■	■									
	ごみの排出状況等の調査・分析				■	■	■	■	■	■	■	■	■
	全庁への啓発・庁内向け広報紙等による周知		■					■		■			■

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>市庁舎の総ごみ量が減少していることは評価できますが、内訳として廃棄物が年々増加している原因を調査し、対策を講じる必要があるのではないか。</p>	<p>市庁舎から排出されるごみについて、ごみ量の傾向を調査・分析するとともに、庁舎管理部門と連携し、啓発やごみ量削減に向けた取組を検討します。</p> <p>特に、廃棄物に混入している資源化できる紙類を資源に分別できるよう啓発を強化します。</p>

取組施策	推進主体
3-2-2 事業系生ごみの削減	環境政策課

【指標と目標値】

指標①	フードバンクに関する情報提供団体数					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		3団体/年	3団体/年	3団体/年	4団体/年	5団体/年
実績値	2団体/年	4団体/年				
指標②	食べきり協力店認定数（累計）					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		10店	15店	20店	60店	100店
実績値	5店	8店				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>①・フードバンクに関しては、地域が行うもの、事業者が行うものについて情報収集し、ホームページや広報紙などを通じて情報提供します。</p> <p>②・食べきり協力店については、町田商工会議所等を通じて制度の周知を図り、新規認定店の掘り起こしを行います。あわせて、認定店の取組を市民に広く周知し、市民利用の促進を図ります。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
フードバンクに関する情報提供	情報収集												
	情報提供												
食べきり協力店認定	制度PR												
	認定店に関する情報提供												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<p>①・フードバンクの開催情報については、町田市ホームページで随時紹介をしています。</p> <p>②・食べきり協力店については、町田商工会議所を通じて制度説明を行いました。2021度は新規に2店舗認定し、6店舗から8店舗となりました。町田市ホームページで紹介するほか、まちだごみ情報紙「ごみナクナレ」でも紹介しました。</p> <p>・南町田グランベリーパークが排出する食品廃棄物を町田市バイオエネルギーセンターではない施設に搬入し食品リサイクルを行うことについて、事前協議を行い、ごみの減量を行いました。</p>	<p>・フードバンクに関しては、町田市社会福祉協議会、市立室内プールと連携して情報提供を行いました。</p> <p>・食べきり協力店については、制度PRの結果、新規での認定も増えています。</p>	
	改善点	
	<p>・フードバンクについては、関係団体と情報共有、連携し、効果的な情報提供を検討します。</p> <p>・食べきり協力店については、店舗にて食品廃棄物が出ないように意識を持っていただくようにしていく必要があります</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
<p>①・フードバンクに関しては、地域が行うもの、事業者が行うものについて情報収集し、ホームページや広報紙などを通じて情報提供します。</p> <p>②・食べきり協力店については、他店舗にもメリットがわかるようにし、取組を進めていただける協力店を増やします。SNSの活用も検討します。</p> <p>排出事業者へ有用な情報を提供し、更なる生ごみの削減に向けた取り組みを図っていきます。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
フードバンクに関する情報提供	情報収集												
	情報提供												
食べきり協力店認定	制度PR												
	認定店に関する情報提供												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
食べきり協力店の取り組みについて、飲食関係の営業許可を担っている町田市保健所との連携を検討してはどうか。	現在、食育という観点で保健所と連携していますが、さらなる連携について検討します。

取組施策	推進主体
3-2-3 事業系紙類の減量・資源化	環境政策課

【指標と目標値】

指標①	周知啓発活動の実施回数					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		10回/年	10回/年	10回/年	10回/年	10回/年
実績値	—	7回/年				

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
①・事業系紙類減量の具体的な方法について情報収集するとともに、周知啓発方法について検討・実施します。													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業系紙類の減量	減量の具体的な方法の情報収集												
	周知啓発活動の検討・実施												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	△
1年間の総括	評価の理由	
<p>周知啓発を以下の7回実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所から出る紙ごみを減らすことについての記事を、ECOまちだ2022年1月15日号に掲載しました。 ・大規模事業所の電話による指導の中で、事業系紙類の減量の取組み状況を確認しました。 ・2022年1月に書面開催した新任廃棄物管理責任者向けの講習会の中で、事業系紙類の減量についても触れました。 ・事業系紙類の減量についての記事はすのんインスタとツイッターに2回ずつ掲載しました。 	<p>・事業者への周知方法を検討しましたが、新型コロナウイルス感染拡大もあり、訪問指導が減ったため、目標に達しませんでした。</p>	
	改善点	
	引き続き、効果的な周知啓発方法を検討していく必要があります。	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容													
①・事業系紙類減量の周知啓発方法について情報収集および検討を行い、具体的な周知を行います。													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業系紙類の減量	周知啓発方法について情報収集および検討												
	周知												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
廃棄物資源の適切な分別を行っている取組例・先進企業を紹介してはどうか。	3R賞受賞企業等の紹介をしていきます。

取組施策	推進主体
3-3-1 事業系ごみ処理手数料の見直し検討	環境政策課

【指標と目標値】

指標①	検討の実施						
	年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		情報収集 見直しの検討	情報収集 見直しの検討	情報収集 見直しの検討	情報収集 見直しの検討	情報収集 見直しの検討	見直し (完了)
実績値	—	情報収集 見直しの検討					

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>①・ごみの減量・資源化の推進を目的として、事業系ごみ処理手数料を2015年度に改定（値上げ）しています。社会情勢等を踏まえた価格水準の妥当性の分析を行うとともに、周辺自治体の手数料等について情報収集を行います。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調査・分析	周辺自治体の情報収集・分析												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	
1年間の総括	○	
<ul style="list-style-type: none"> ・周辺自治体の手数料の変動について情報収集を行いました。 ・多摩地域以外の近隣市についても情報収集を行いました。 ・多摩地域、それ以外の近隣市について、2021年度に料金の改定を行った自治体はありませんでした。 	<p>評価の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定通り情報収集を行うことができました。 	
		<p>改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の見直しを見据えて、周辺自治体の情報収集等を継続して行っていく必要があります。

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容													
①・ごみの減量・資源化の推進を目的として、事業系ごみ処理手数料を2015年度に改定（値上げ）しています。社会情勢等を踏まえた価格水準の妥当性の分析を行うとともに、周辺自治体の手数料等について情報収集を行います。													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
調査・分析	周辺自治体の情報収集・分析												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
ごみ処理手数料の見直しを積極的に進めるべき。	社会状況や中小企業対策等を考慮し、近隣市町村の価格を参考にしながら、見直しの検討を行ってまいります。

取組施策	推進主体
4-1-1 環境に配慮した新しいごみ焼却施設等の整備・運営	循環型施設管理課

【指標と目標値】

指標①	発電効率					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		17%以上 (新焼却施設)	17%以上 (新焼却施設)	17%以上 (新焼却施設)	17%以上 (新焼却施設)	17%以上 (新焼却施設)
実績値	約10% (既存焼却施設)	19.60%				
指標②	燃やせないごみに含まれる資源化物の選別精度					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		75%以上	75%以上	75%以上	75%以上	75%以上
実績値	—	硬質プラ： 20.75% 小型家電： 81.53%				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>①・2022年1月の新しいごみ焼却施設の稼働開始に向けて建設を進めています。</p> <p>②・新しいごみ焼却施設の稼働開始後は、指標としている発電効率と燃やせないごみに含まれる資源化物（硬質プラスチックおよび小型家電）の選別精度が目標値を達成するように、運営事業者の選別状況等についてモニタリングを行います。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
新しいごみ焼却施設の建設及び効率的なエネルギー回収	新しいごみ焼却施設の建設												
	効率的なエネルギー回収												
燃やせないごみの中から収集後資源化の推進	収集後資源化の推進												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	△
1年間の総括	評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> 新しいごみ焼却施設（町田市バイオエネルギーセンター内）の建設は、2021年7月から12月まで試運転を行い、2022年1月より本格稼働を開始しました。 試運転期間中から本格稼働後も継続して、指標としている発電効率と燃やせないごみに含まれる資源化物（硬質プラスチックおよび小型家電）の選別精度が目標値を達成するように、選別状況等についてモニタリングを行いました。 発電効率：目標値を達成 硬質プラスチックの選別精度：目標値を下回った 小型家電の選別精度：目標値を達成 	<ul style="list-style-type: none"> 発電効率と燃やせないごみに含まれる小型家電の選別精度については、目標値を達成することができたが、燃やせないごみに含まれる硬質プラスチックの選別精度については、目標値を下回る結果となったため。 	
	改善点	
	<ul style="list-style-type: none"> 燃やせないごみに含まれる硬質プラスチックの選別精度の目標値を達成するために、市全域での容器包装プラスチックの再資源化を構築する必要があります。 	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
①・新しいごみ焼却施設にて、指標としている発電効率（17%以上）を達成できるよう引続き運営のモニタリングを実施します。 ②・また、運営事業者による選別状況について引続きモニタリングするとともに、燃やせないごみに含まれる硬質プラスチックの選別精度については、当初計画していたごみ質に近いごみを用意し、そのごみを処理した際に硬質プラスチックの選別精度75%以上を達成できるか確認します。 ※変化するごみ質によらず水準を維持できるよう各年同じ目標値としています。													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
新しいごみ焼却施設での効率的なエネルギー回収	効率的なエネルギー回収												
燃やせないごみの中から収集後資源化の推進	選別状況のモニタリング												
	計画ごみ質による選別精度（硬質プラ）の確認									年度内に1度実施(予定)			

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
一定の数値を維持することが難しいので、目標値には変化がないのであれば、その旨を記載したほうがよいのではないか。	多様なごみの搬入があるなか、安定したごみの焼却を継続し、発電効率を維持していくことや資源化物の選別制度を一定水準確保する必要があるため同じ数値目標としております。

取組施策	推進主体
4-1-2 生ごみのバイオガス化施設の整備・運営	循環型施設管理課

【指標と目標値】

指標①	発電量（熱利用率）						
	年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値			350kWh/ごみt	350kWh/ごみt	350kWh/ごみt	350kWh/ごみt	350kWh/ごみt
実績値		—	393kWh/ごみt				

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
<p>①・2022年1月の生ごみのバイオガス化施設の稼働開始に向けて整備を進めます。</p> <p>①・バイオガス化施設の稼働開始後は、指標としている発電量が目標値を達成するように、運営事業者の施設運転状況等についてモニタリングを行います。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
バイオガス化施設の建設及び効率的なエネルギー回収	バイオガス化施設の建設												
	効率的なエネルギー回収												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	◎
1年間の総括	評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> バイオガス化施設（町田市バイオエネルギーセンター内）の建設は、2021年7月から12月まで試運転を行い、2022年1月より本格稼働を開始しました。 試運転期間中、本格稼働開始後は、指標としている発電量について、目標値350kWh/ごみtに対し、実績値が393kWh/ごみtとなっており、目標値が達成されていることを確認しました。 	<ul style="list-style-type: none"> バイオガス化施設では、指標としている発電量が目標値を上回る結果となりました。 	
	改善点	
	<ul style="list-style-type: none"> ごみ質の変動にかかわらず、年間を通して指標としている発電量が目標値を達成できるように、運営事業者の施設運転状況等についてモニタリングを行います。 目標値が達成できない場合、運営事業者と協議し、改善を促して目標値の達成を目指します。 	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
<p>①・バイオガス化施設では、ごみ質の変動にかかわらず指標としている発電量が目標値を達成できるよう、運営事業者の施設運転状況等についてモニタリングを行います。目標値が達成できない場合、運営事業者と協議し、改善を促して目標値の達成を目指します。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
バイオガス化施設の効率的なエネルギー回収	効率的なエネルギー回収												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
該当なし	

取組施策	推進主体
4-1-3 資源化施設の整備	循環型施設整備課

【指標と目標値】

指標①-1		施設整備の進捗状況（相原地区）				
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		都市計画決定	都市計画決定 用地取得	実施設計	整備工事	施設稼働
実績値	施設概要の検討	都市施設の告示				
指標①-2		施設整備の進捗状況（上小山田地区）				
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		基本計画検討・用地測量・都市計画決定・用地取得・実施設計				
実績値	施設概要の検討	施設概要の検討				

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
<p>町田市資源循環型施設整備基本計画に基づき、ビン、カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等の資源ごみ処理施設を市内に分散して整備します。また、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（プラ新法）を受けての国や都の動向にも注視します。</p> <p>①-1・相原地区の資源ごみ処理施設整備に向け、地区連絡会その他関係者と調整し、施設の都市計画決定を行います。</p> <p>①-2・上小山田地区の資源ごみ処理施設整備に向け、道路事業及び地区連絡会その他関係者と調整し、施設基本計画の検討を行います。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
相原地区資源ごみ処理施設整備	施設の都市計画決定作業												
上小山田地区資源ごみ処理施設整備	道路事業との調整及び施設基本計画の検討												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<p>・町田市資源循環型施設整備基本計画に基づく資源ごみ処理施設を市内に分散して整備する取組のうち、</p> <p>①-1・相原地区の資源ごみ処理施設整備については、施設の都市計画決定の手続きを進め、都市計画審議会の審議を経て都市施設（ごみ処理場）の告示を行いました。また、ごみ処理場事業第3号町田市西部資源化センターとして事業認可の手続きを進めています。</p> <p>①-2・上小山田地区の資源ごみ処理施設整備については、道路事業及び地区連絡会その他関係者との調整を行っています。</p>	<p>・①-1についてはごみ処理場としての都市計画決定を行い、事業認可の申請手続きまで進捗しました。</p> <p>・①-2では道路整備の進捗が得られず地区連絡会の開催ができませんでしたが、地元との情報共有に努めました。</p>	
	改善点	
	<p>・①-1、①-2ともに、引き続き住民や地権者との信頼関係を維持しながら、事業の進捗が得られるよう、地権者への説明と地元との協働関係を強めていく必要があります。</p> <p>・①-1については、施設の形状等具体的な施設や発注方法が未定のため、速やかに決定していく必要があります。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容													
<p>町田市資源循環型施設整備基本計画に基づき、ビン、カン、ペットボトル、容器包装プラスチック等の資源ごみ処理施設を市内に分散して整備します。また、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律（プラ新法）を受けての国や都の動向にも注視します。</p> <p>①-1・相原地区の資源ごみ処理施設整備に向け、事業用地の取得を進めます。</p> <p>①-2・上小山田地区の資源ごみ処理施設整備に向け、道路事業との調整並びに地元地区連絡会その他関係者と調整し、施設基本計画の検討を行います。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
相原地区資源ごみ処理施設整備	事業用地の鑑定・取得												
上小山田地区資源ごみ処理施設整備	道路事業との調整及び施設基本計画の検討												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>資源化設備の整備のスケジュール表をきちんと作成し、進捗状況を管理し、報告すべき。</p>	<p>整備にあたりましてはスケジュールを策定し、進めていきます。</p> <p>また、進捗につきましては、随時報告させていただきます。</p>

取組施策	推進主体
4-2-1 収集体制の見直し	ごみ収集課

【指標と目標値】

指標①	効率的な収集体制の構築					
年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		情報収集	方針検討	方針決定	実施準備	構築
実績値	—	情報収集				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
①・資源とごみの収集がより効率的な体制となるよう、委託事業者や他市へのヒアリングやアンケート調査等の情報収集を行います。													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事業者からの情報収集	アンケート又は意見交換会の実施												
関係部署、他市からの情報収集	アンケート、訪問、リモート会議等の実施												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	◎
1年間の総括	評価の理由	
<p>①以下のとおり情報収集を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 6月から7月にかけて、可燃ごみ収集運搬業務委託事業者7社をはじめ、ビン・カン、有害ごみ(1社)、古紙・古着(3社)、粗大ごみ(1社)と意見交換を行いました。安定した収集運搬体制に関するご意見、感染症まん延時や災害時の応援体制に関するご意見、現在の週6日収集から5日収集を望むご意見をいただきました。 10/28に2022年度から収集体制を一部変更する八王子市と情報交換を行い、収集の地区割りや市民周知方法に関するヒントを得ることができました。 3月に近隣及び同規模自治体35市へのアンケート調査を実施しました。週5日収集に変更した場合の品目の曜日分けや収集品目の組み合わせ方等参考になる情報を得ることができました。 6/25、11/12に座間市で2020年3月から導入している収集業務サポートシステム※の視察を行い、同システムのトライアルを2月から3月に実施しました。結果として収集ルートを見直すことで、収集車の台数を削減できる可能性があることがわかりました。 <p>※収集業務サポートシステム タブレット端末を使用しながら収集を行い、収集時間や走行距離、収集量のデータを蓄積することで、効率的な収集ルートを導くことができるシステム。</p>	<p>①様々な手段で情報収集を行った上で、先進都市を参考に収集業務サポートシステムのトライアルを実施し、データの蓄積と分析により効率的な収集ルートを導き出し、必要な車両台数の試算が可能であることが確認できました。</p> <p>改善点</p> <p>①・収集業務サポートシステムの活用を継続し、市内全域のデータを収集する必要があります。</p> <p>・収集した情報を活用し、町田市に合った収集体制の方針を決定していく必要があります。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容													
①・収集業務サポートシステムを活用して検討を更に深度化し、高齢者をはじめ市民の利便性と共に、CO2の削減を考慮した、効率的な収集体制の方針案を策定します。													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
収集業務サポートシステムを活用した検討	市内全域のデータ収集と分析、データを活用した検討												
方針案の策定	検討内容を取りまとめて方針案を策定する												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>カーボンニュートラルや資源化率の向上のために、収集体制は随時見直す必要がある。アンケート等の結果などがあれば、ぜひとも審議会でも報告いただきたい。また、今後は、どのようなルート、どのような車両だとCO2がどの程度削減できるのか、などの具体的な話が議論の中心となる必要があるのではないか。</p>	<p>アンケート等の結果を踏まえて検討した結果を、次回の審議会でご報告いたします。</p> <p>収集体制の見直しにおいて、CO2の削減については、重要な課題だと認識し、収集地区割りや収集ルートの見直しなど、収集車の走行距離を減らすための検討や、省エネ対策の取られた収集車両の導入について検討を行っています。</p>

取組施策	推進主体
4-3-1 資源化の拡大	環境政策課 循環型施設管理課

【指標と目標値】

指標①	調査研究の実施					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		実施	実施	実施	実施	実施
実績値	-	実施				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>【環境政策課】</p> <p>①・紙おむつや落ち葉など増加傾向にあるごみの資源化に向けて、国や都の動向に注視し、先行自治体の調査研究を行います。</p> <p>【3R推進課】</p> <p>①・現在リサイクル広場で回収している資源について行政回収の品目に加えることも想定しながら、回収品目について検討してまいります。</p> <p>【資源循環課】</p> <p>①・資源化品目として搬入されているものについても、処理過程でごみになってしまう部分を減少できないか等について研究を行います。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
紙おむつ等の資源化 (環境政策課)	先行自治体の調査研究												
リサイクル広場回収品目検討 (3R推進課)	新規回収品目検討												
	既存回収品目の在り方検討												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> 紙おむつ等の資源化について、先行自治体の調査研究に加えて、東京都の公募事業である「使用済み紙おむつのリサイクル推進に向けた実証事業」に、公募事業を実施する事業者と協力し、事業を実施しました。 実証事業の結果から、紙おむつリサイクル導入に関する現状の課題を整理しました。 既存の資源化品目ではありませんが、落ち葉のたい肥化について、剪定枝資源化センターで実験を行いました。少量の落ち葉であれば、剪定枝と合わせてたい肥化が可能であることを確認できました。大量の落ち葉については、今後、確認を行います。 リサイクル広場については、新たな回収品目の追加検討をしていましたが実施には至りませんでした。引き続き新たな回収品目の追加検討をします。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙おむつの資源化について、調査研究に加えて、当初予定になかった東京都の公募事業である「使用済み紙おむつのリサイクル推進に向けた実証事業」で2事業者の実証事業に協力したため。 予定を変更し新たな資源化品目ではありますが、研究を進めることができました。 	
	改善点	
	<ul style="list-style-type: none"> 紙おむつの資源化に向けた研究だけでなく、増加傾向にあるごみの資源化に向けた研究を行う必要があります。 落ち葉の量を増やして実験を行い、たい肥化が可能であるか確認する必要があります。 	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容	
<p>①・使用済み紙おむつの資源化について、紙おむつの排出実態等の調査を実施します。また、リサイクルルートについて、国や事業者等の動向の把握に努めます。</p> <p>①・新たな資源化品目の設定を目指し、増加傾向にあるごみの資源化に向けた調査研究を行います。</p> <p>①・資源化に向けた取組について、民間事業者と情報交換を行います。</p> <p>①・リサイクル広場で回収している資源について行政回収の品目に加えることも想定しながら、回収品目について検討します。</p> <p>①・落ち葉の資源化に向けて、前年度よりも落ち葉の量を増やして実験を行い、たい肥化が可能であるか確認を行います。</p>	

2022年度スケジュール		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
項目	詳細												
新たな資源化品目の研究	先行自治体の調査研究												
民間事業者との情報交換	調査・情報交換												
リサイクル広場回収品目検討	新規回収品目検討												
	既存回収品目の在り方検討												
落ち葉の資源化	剪定枝と合わせたたい肥化の研究												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>紙おむつについては、調査研究だけではなく、都の実証事業に取り組むなど積極的な動きを作れたことは大変評価できると思う。その結果を今後どのように生かしていくかについて注視していきたい。</p>	<p>実証事業に協力したことを今後の施策に活用することができるよう、引き続き調査・分析を行います。特に、大人用紙おむつの排出実態等の調査を行うことを予定しています。</p> <p>また、リサイクルルート確保に向けた情報収集を引き続き行います。</p>

取組施策	推進主体
5-1-1 災害時等のごみ処理に関する計画の見直し	環境政策課

【指標と目標値】

指標①	災害廃棄物処理計画及び職員行動マニュアルの見直し					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		見直しの実施	見直しの実施			
実績値	-	見直しの実施				
指標②	事業継続計画の見直し					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		見直しの実施	見直しの実施			
実績値	-	見直しの実施				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>町田市では2018年度に町田市災害廃棄物処理計画を、2020年度に廃棄物処理事業継続計画と災害廃棄物処理に関する職員行動マニュアルを策定しました。</p> <p>①②・各計画は町田リサイクル文化センターによる廃棄物処理を想定しているため、町田市バイオエネルギーセンターの稼働を踏まえて、各種計画の見直しを行います。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
災害廃棄物処理計画及び 行動マニュアルの見直し	方針確認												
	検討・修正												
事業継続計画の見直し	方針確認												
	検討・修正												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
町田市バイオエネルギーセンターの廃棄物処理量や運営委託事業者との連携を踏まえて、災害廃棄物処理計画、事業継続計画の見直しを行いました。また、災害廃棄物の仮置場候補地の現地調査を行い、災害廃棄物の円滑な排出、処理ができるような仮置場レイアウトについて検討しました。	災害廃棄物処理計画、事業継続計画（地震編）の見直しが完了したため。	
	改善点	
	2021年度に改訂した計画を踏まえた、職員行動マニュアルの見直しや町田市バイオエネルギーセンターの稼働や感染症の拡大を想定した、廃棄物処理事業継続計画の見直しが必要となります。 また、引き続き災害廃棄物の仮置場候補地の現地調査を進め、より活用しやすい候補地を模索していく必要があります。	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
①②・2021年度に見直した災害廃棄物処理計画を踏まえた、職員行動マニュアルの見直し についての検討や仮置場候補地の現地調査 を行います。また、町田市バイオエネルギーセンターの稼働や感染症の拡大を想定した、廃棄物処理事業継続計画の見直しを行います。													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
災害廃棄物処理職員行動マニュアルの見直し	方針確認	■					■					■	
	検討・修正	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
仮置場候補地の現地調査	調査・レイアウト検討	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
廃棄物処理事業継続計画の見直し	方針確認	■					■					■	
	検討・修正	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
「災害時等」には今般のコロナ禍のような自体も含めて考えることになっていたはずであり、コロナ禍への対応の経験を整理して今後の教訓をまとめ、計画・マニュアルに反映できる部分は反映した方がよいのではないか。	コロナ禍の教訓をふまえ、2022年度は廃棄物処理事業継続計画の見直しを行う予定です。

取組施策	推進主体
5-1-2 災害時等の教育・訓練	環境政策課 ごみ収集課

【指標と目標値】

指標①	災害時の対応訓練の実施回数						
	年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値			1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年
実績値		—	1回/年				

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
<p>【環境政策課】</p> <p>①・大規模災害時に大量に発生する災害廃棄物を迅速・適切に処理し、市域全体の迅速な復旧・復興を進めていくためには、速やかに初動対応を行う必要があります。災害廃棄物が発生した場合を想定し、災害廃棄物を集積する仮置場の開設訓練を実施することで、仮置場の分別レイアウトや課題を把握し、迅速かつ適切な災害廃棄物の処理を目指します。</p> <p>【3R推進課】</p> <p>①・災害時の資源とごみの適正排出について、「ECOまちだ」と「資源とごみの収集カレンダー」に啓発記事を掲載し、広く市民に周知を図ります。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
迅速な初動対応のための教育・訓練の実施 (環境政策課)	訓練案検討												
	訓練実施												
災害時の適正排出に関する周知(3R推進課)	掲載内容の検討												
	ECOまちだ、資源とごみの収集カレンダーに掲載												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<p>①・道路の通行を妨げるがれきや市民によって排出される家財道具などの災害廃棄物が発生した場合を想定し、道路部と合同で訓練を企画、実施しました。</p> <p>①・発生した災害廃棄物を集積する仮置場の開設、運営、搬入の検証を行う実動訓練を11月に実施し、仮置場の開設手順や搬入の流れについて確認しました。</p> <p>①災害時の適正排出に関する日常的な周知として、環境広報紙「ECOまちだ」2022年1月15日号に記事を掲載しました。また、2022年度版「資源とごみの出し方ガイド」に掲載しました。</p>	<p>①・災害廃棄物に関連する部署と合同で仮置場の開設、運営、搬入の検証を行うことで、災害対応能力の向上につなげることができました。</p> <p>①・ECOまちだ等に掲載し、市民に周知を図ることができました。</p>	
	改善点	
	<p>①・災害廃棄物処理に関する理解を深め、部署内で知識や経験を定着させるために、定期的な災害廃棄物処理の手順を確認する訓練の実施が必要となります。</p> <p>①・多くの市民に周知を図るため、資源とごみの収集カレンダーやSNSを活用します。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容													
<p>①・引き続き、災害廃棄物処理に関する理解を深め、部署内で知識や経験を定着させるために、仮置場の開設、運営、搬入の検証を行う実動訓練を実施し、仮置場の開設手順や搬入の流れについて確認します。</p> <p>①・災害時の資源とごみの適正排出について、「ECOまちだ」と「資源とごみの収集カレンダー」に啓発記事を掲載します。また、SNSを活用して広く市民に周知を図ります。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
迅速な初動対応のための教育・訓練の実施	訓練案検討												
	訓練実施												
災害時の適正排出に関する周知	ECOまちだ、資源とごみの収集カレンダーに掲載												
	SNSを活用した周知												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>発災時には迅速な初動対応が重要であることから、職員の異動により動きが鈍ることのないように訓練を継続していただきたい。</p>	<p>職員が異動しても円滑に災害対応ができるよう、引き続き訓練を実施していきます。</p>

取組施策	推進主体
5-1-3 応援・受援体制の整備	環境政策課

【指標と目標値】

指標①	他自治体等との連携体制の構築						
	年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値			情報収集	協定締結	拡充	拡充	拡充
実績値		—	情報収集				

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
<p>①・大規模災害によって大量に災害廃棄物が発生した場合、他自治体や民間事業者への応援要請が想定されます。災害廃棄物の収集運搬及び処理に必要となる、人員及び物資の調達に向けて、被災自治体や民間事業者から情報収集を行います。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
他自治体や民間事業者等との連携体制の整備	被災自治体や民間事業者からの情報収集												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> ・平常時から締結できる協定について、情報収集を行いました。また、被災自治体の協定の締結内容について確認しました。 ・多摩地域の自治体に協定締結の状況、締結内容等について調査しました。 	<p>多摩地域の自治体の協定締結状況、締結先を把握することができました。</p>	
	改善点	
	<p>他市の調査を踏まえて、町田市の締結先に適した事業者の選定と協定締結に向けた内容の調整が必要です。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
①・市内や近隣の廃棄物収集運搬処理事業者から情報収集しながら、災害廃棄物の収集運搬処理が可能な事業者を模索し、協定を締結します。													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
他自治体や民間事業者等との連携体制の整備	被災自治体や民間事業者からの情報収集												
	協定締結												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
該当なし	

取組施策	推進主体
5-2-1 高齢者等に対応した収集体制の検討	ごみ収集課

【指標と目標値】

指標①	資源の戸別収集の検討					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		情報収集	方針検討	方針決定	実施準備	完了
実績値	—	情報収集				
指標②	ふれあい収集事業の見直し					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		情報収集	方針検討	方針決定	実施準備	完了
実績値	—	情報収集				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容														
<p>①・高齢者等がごみや資源を出しやすい収集体制となるよう、委託事業者や近隣市へのヒアリングやアンケート調査等の情報収集を行います。</p> <p>②・ふれあい収集を継続的に実施するため、環境の変化に対応出来る収集体制となるよう情報収集を行います。</p>														
2021年度スケジュール														
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
①関係部署、他市からの情報収集	アンケート、訪問、リモート会議等の実施													
②ふれあい収集体制の情報収集	情報収集													
	課題の整理													

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<p>①1/25に資源物の収集運搬委託業者（3社）と意見交換会を行い、資源物の戸別収集に関する意見や情報を収集しました。</p> <p>・現在、集積所収集を収集車両1台につき1名乗車でしていますが、戸別収集の場合は2名乗車になることについて、安全面等メリットがあるとのこと意見や、車両や人員の体制を整えるための準備期間が1年半から2年くらい必要とのこと意見がありました。</p> <p>②ふれあい収集を担っている可燃ごみ収集運搬業者(7社)へアンケート調査を行い、利用者の増加や、不在時の対応に関する課題が明らかになりました。</p> <p>・ふれあい収集と通常可燃物収集と同時進行で対応することが、利用者の増加や利用者の諸事情などで収集現場で苦慮されていることを確認しました。</p> <p>・ふれあい収集で時間を要する事案が発生した場合などに通常可燃収集の遅延問題が考えられます。</p>	<p>ヒアリングやアンケート調査を行い、情報収集を行うことができました。</p>	
	改善点	
	<p>①高齢者、障がい者担当部署と意見交換や協議を行う必要があります。</p> <p>②利用者自身の諸事情を踏まえた対応及び利用者増加による通常収集業務の負担増の改善を図る必要があります。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
①・資源の戸別収集について高齢者、障がい者担当部署と連携して検討を行い、収集体制の方針案を策定します。 ②・収集現場の現状を踏まえた収集体制・仕組みの検討を実施します。													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①資源の戸別収集の検討	関係課と連携し検討を進める												
	検討内容を取りまとめて方針案を策定する												
②ふれあい収集体制の検討	方針の検討と調整												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
ふれあい収集の需要は増加していくことが予想できる。 人員体制の整備も必要だが、サービスを必要としている市民にきちんと届くような仕組みづくりを福祉分野等と連携して構築する必要があると思う。	ふれあい収集については、ケアマネージャーから対象の高齢者の方等へ事業内容についてご説明いただいています。今後も必要な方に情報が届くよう、福祉分野との連携を行ってまいります。 加えて、高齢者をはじめ全ての方が、ごみの分け方、出し方を簡単に確認できるよう、わかり易い資源とごみの収集カレンダー作りを行ってまいります。

取組施策	推進主体
5-3-1 不用品の違法回収防止対策の推進	環境政策課

【指標と目標値】

指標①	指導体制の確立					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		体制の検討	体制の検討	体制の確立	体制の運用	体制の運用
実績値	—	体制の検討				
指標②	違法回収利用の未然防止を図るための啓発回数					
年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値		5回/年	5回/年	5回/年	5回/年	5回/年
実績値	1回/年	5回/年				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>【環境政策課】</p> <p>①・不用品の違法回収防止対策を推進するため、指導体制が確立している先行自治体の調査研究を行い、効率的な指導体制確立に向け検討を行います。</p> <p>【3R推進課】</p> <p>②・市民が違法回収業者を利用しないよう、メール配信サービス、ごみ分別アプリ、広報紙等を使用した啓発を行います。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
指導体制の確立 (環境政策課)	業務内容や役割分担の整理												
	先行自治体の調査研究												
②利用の未然の防止を図る ための啓発(3R推進課)	メール配信サービス、ごみ分別アプリ												
	広報紙												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<p>①・他市の情報収集を行いました。</p> <p>①・指導体制の確立に向け、対応する部署の検討を行いました。</p> <p>・違法回収の情報が寄せられた際、部内担当で情報共有し、重点的なパトロール実施等の対応を行いました。</p> <p>②・違法回収業者の利用を未然に防ぐための啓発として、環境広報紙「ECOまちだ」2021年9月15号及び「資源とごみの収集カレンダー」「資源とごみの出し方ガイド」に記事を掲載しました。またInstagram、Twitterで周知を行いました。</p>	<p>・予定通り体制の検討を行うことができました。</p> <p>・さまざまな媒体で周知を図り、目標値に達することができました。</p>	
	改善点	
	<p>・指導体制確立のため、東京都や近隣自治体とも連携していく必要があります。</p> <p>・市民に浸透するよう、継続して周知を行っていく必要があります。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度取組方針・内容													
<p>①・不用品の違法回収防止対策を推進するため、指導体制が確立している先行自治体の調査研究を行い、効率的な指導体制確立に向け検討を行います。</p> <p>②・市民が違法回収業者を利用しないよう、SNSや広報紙等を使用した啓発を行います。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
指導体制の確立	業務内容や役割分担の整理												
	先行自治体の調査研究												
利用の未然の防止を図るための啓発	SNSを活用した周知活動												
	広報紙												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>不用品の違法回収防止や不法投棄防止策についてもっと積極的な対策を作るべき。単にパトロールを強化するだけでは、限界がある。設備面も含め、地元ともしっかり突っ込んだ議論が必要ではないか。</p>	<p>違法回収・不法投棄対策について、引き続き町田警察、南大沢警察と連携し、地元の要望をしっかりと確認した後、啓発看板の設置や防犯カメラの設置、パトロール強化を行ってまいります。</p>

取組施策	推進主体
5-3-2 不法投棄防止対策の推進	ごみ収集課

【指標と目標値】

指標①	不法投棄防止・抑止活動の実施回数						
	年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値			198回/年	176回/年	176回/年	176回/年	198回/年
実績値		148回/年	176回/年				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>①・昼間、夜間のパトロールを行い、不法投棄の防止、抑止を図ります。</p> <p>①・不法投棄多発場所に監視カメラや啓発看板を設置し、不法投棄がされにくい環境を整えます。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
パトロール活動	昼間： 週3回×1台（150回）												
	夜間： 年4回×2台（48回）												
不法投棄されない環境づくり	監視カメラ維持管理（設置、移設含む）												
	啓発看板の活用（設置、貸与）												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	△
1年間の総括	評価の理由	
<p>パトロール（昼間128回・夜間48回） 不法投棄多発地域や不法投棄の多いごみ集積所に巡回するコースを予め設定し、パトロールを行いました。夜間パトロールでは青色回転灯を装着し、防犯も兼ねたパトロールを行いました。</p> <p>監視カメラ 現在の設置場所の監視が必要な為、新設・移設は行っていません。</p> <p>啓発看板 貸与件数：120件 貸与枚数：175枚</p>	<p>昼間のパトロールは目標回数の実施が出来ませんでした。夜間は目標回数を達成できました。</p>	
	改善点	
	<p>パトロールについて、市民より不法投棄など巡回に要望が多いため、パトロールのコースの変更を行い対応します。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
①・昼間、夜間のパトロールを行い、不法投棄の防止、抑止を図ります。 ①・監視カメラや啓発看板を活用して、不法投棄がされにくい環境を整えます。													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
①パトロール活動	昼間： 週3回×1台（128回）												
	夜間： 年4回×2台（48回）												
①不法投棄されない環境づくり	監視カメラ維持管理（設置、移設含む）												
	啓発看板の活用（設置、貸与）												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
不法投棄のパトロールと持ち去り防止のパトロールを行った際のデータを丁寧に分析し、パトロールの回数やコースの変更が必要なのか、といったことを検討していく必要がある。	不法投棄、持ち去りパトロールについて、データ分析に伴うコースの見直しを状況に合わせて随時行っています。

取組施策	推進主体
5-3-3 まちの美化の推進	環境共生課

【指標と目標値】

指標①	美化推進キャンペーン実施回数						
	年度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値			4回/年	20回/年	20回/年	20回/年	20回/年
実績値		4回/年	18回/年				

【事業計画】

2021年度取組方針・内容													
<p>①・美化推進重点区域内、及び付近の町内会や商店会と協力して啓発品の配布や清掃活動を行う「美化推進キャンペーン」や、主に市の職員が市内各駅周辺にて啓発品の配布や清掃活動を行う「美化推進キャラバン」等により美化推進啓発活動を行います。</p> <p>①・ハスのんInstagramへの投稿や、市のホームページを活用し美化推進重点区域の周知等、情報発信を行います。</p> <p>①・新たな美化推進重点区域の指定について、地元町内会・自治会と協議、検討を進めます。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
美化推進キャンペーン等	指定区域内の町内会や商店会と協力して行うキャンペーン												
	市内各駅周辺で職員が行うキャラバン												
SNSによる情報発信	ハスのんInstagramや市のホームページを使って行う情報発信												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	○
1年間の総括	評価の理由	
<p>・新型コロナウイルス感染症の影響から、美化推進キャンペーン等の啓発活動はできませんでしたが、美化推進員と連携した町田駅周辺での路上喫煙防止等の呼びかけを10回実施しました。</p> <p>・また、5月30日のごみゼロデーに合わせ、市内町内会・自治会掲示板で1回、町田市ホームページおよび広報まちだで1回、町田駅の電光掲示板（小田急町田駅北口モニュメント及びベデストリアンデッキ）で1回、地域清掃を促しました。</p> <p>・さらに、FC町田ゼルビアと連携し、町田GIONスタジアムの大型映像装置と場内アナウンスによる周知啓発を2試合で実施しました。</p> <p>・また、喫煙所内の適切な利用等について、ハスのんInstagramへの投稿を2回、指定喫煙所内へのポスターの掲示を3回行いました。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症防止の観点から、大人数での啓発活動の美化推進キャンペーン等に替え、少人数で行う啓発活動を工夫し、町田駅周辺での美化推進員の巡回に同行して路上喫煙防止等の呼びかけを行いました。</p>	
	改善点	
	<p>新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を踏まえ、美化推進重点区域内及び付近の町内会・自治会や商店会等との連携のとれたイベント等の啓発活動のあり方を検討する必要があります。</p>	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
<p>①・美化推進重点区域内及び付近の町内会・自治会や商店会等と協力して啓発品の配布や清掃活動を行う「美化推進キャンペーン」や、主に市の職員が市内各駅周辺にて啓発品の配布や清掃活動を行う「美化推進キャラバン」等により美化推進啓発活動を行います。</p> <p>①・ハスのんInstagramへの投稿や、市のホームページを活用し美化推進重点区域の周知等、情報発信を行います。</p> <p>①・美化推進重点区域内及び付近の町内会・自治会や商店会等との連携のとれたイベント等の啓発活動のあり方を検討します。</p> <p>①・南町田グランベリーパーク駅付近にて、美化推進重点区域外用のポイ捨て防止対策用路面シートの実証実験を始めます。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
美化推進キャンペーン等	指定区域内の町内会や商店会と協力して行うキャンペーン		■	■				■	■		■	■	
	市内各駅周辺で職員が行うキャラバン	■	■	■				■	■	■		■	■
SNSによる情報発信	ハスのんInstagramや市のホームページを使って行う情報発信	■	■				■						

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
該当なし	

取組施策	推進主体
5-3-4 持ち去り行為防止対策の推進	ごみ収集課

【指標と目標値】

指標①	持ち去り防止活動の実施回数						
	年 度	2019年度 (実績値)	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
目標値			5回/年	6回/年	7回/年	8回/年	10回/年
実績値		3回/年	0回/年				

【事業計画】

2021年度の取組方針・内容													
<p>①・地域住民、警察、市の合同パトロールを行い、看板の掲示等持ち去り行為をする者を近寄させない環境づくりを進めます。</p> <p>①・持ち去り行為を防止するため職員による持ち去りパトロールを実施し、持ち去り者に対する指導を行います。</p>													
2021年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
合同パトロール	地域住民との持ち去り防止活動												
持ち去りパトロール	持ち去り行為撲滅のための指導業務												

【評価】

2021年度点検結果	町田市評価	△
1年間の総括	評価の理由	
<ul style="list-style-type: none"> 協定を結んでいる、資源物持ち去り行為防止活動団体からの協力依頼で支援・応援している合同パトロールは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できませんでした。 警察OBによる持ち去りパトロールは、月20回程度実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により、活動団体からの協力依頼で行う合同パトロールが実施できませんでした。 警察OBによる持ち去りパトロールは、月20回程度実施しました。 	
	改善点	
	持ち去りパトロールコースの拡充を図ります。また、新型コロナウイルス感染症の影響がある場合には、合同パトロールに代わる協働活動を模索します。	

【2022年度の事業計画】

2022年度の取組方針・内容													
<p>①・地域住民、警察、市の合同パトロールを行い、看板の掲示等持ち去り行為をする者を近寄らせない環境づくりを進めます。</p> <p>①・持ち去り行為を防止するため職員による持ち去りパトロールを実施し、持ち去り者に対する指導を行います。</p>													
2022年度スケジュール													
項目	詳細	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
合同パトロール	地域住民との持ち去り防止活動												
持ち去りパトロール	持ち去り行為撲滅のための指導業務												

【審議会からの意見】

審議会からの主な意見	市の対応
<p>里山や市街化調整区域が多い市内には、予算もあるだろうが抑止も兼ねて監視カメラを増設し、警察と協力し徹底的に取り締まるべき。</p>	<p>要望に応じ監視カメラの増設や移設を行っています。また、警察と連携して不法投棄されにくい環境を整えています。</p>